

補助金調査・評価シート [制度的補助]

| 補助金名等 | | | | | | |
|--------|--------------|--------------|------|----------------|----|-----------|
| 補助金の名称 | 家庭保育室賠償保険補助金 | | | No. | 34 | |
| 予算事業名 | 家庭保育室助成事業 | | | | | |
| 予算科目 | 款 | 03民生費 | 項 | 02児童福祉費 | 目 | 01児童福祉総務費 |
| | 節 | 19負担金補助及び交付金 | 細々節 | 01家庭保育室賠償保険補助金 | | |
| 部課名 | 健康福祉部子育て支援課 | | 電話番号 | 049-251-2711 | 内線 | 332 |

| 補助金の根拠 | | | |
|--------|--------------------------------|---|---|
| 根拠条例等 | 条例 | | |
| | 規則 | | |
| | 要綱 | 富士見市家庭保育室事業実施要綱 | |
| | その他 | | |
| 開始年度 | 昭和 59 年度 | 終期の設定 | <input type="checkbox"/> 有 (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 補助金の分類 | <input type="checkbox"/> 事業費補助 | <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助 | <input type="checkbox"/> イベント等補助 |
| | <input type="checkbox"/> 投資的補助 | <input type="checkbox"/> 扶助費的補助 | |

| 補助金の概要 | |
|---|---|
| 目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。) | 家庭保育室での万が一の事故に備え、賠償責任保険に加入しやすい環境の整備を目的に補助金を交付する。 |
| 導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。) | 市が家庭保育室の指定を行っているため、その監督責任を問われた場合に備え、保険加入の促進が必要であると判断した。 |
| 対象資格 (対象資格はどのようなものか。) | 市内にある家庭保育室に指定されている認可外保育施設 |
| 交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。) | 補助金額…年額8,100円 (加入料がこの金額以下のときは、その金額) 交付時の確認資料…保険加入契約書又は証券 |
| 積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。) | 平成22年度予算額 33 千円 8,100円×4箇所 |

| 補助割合等 | |
|--------------------|---|
| 補助割合等の明示 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 定額) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。) |
| 財源内訳 | <input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示) |
| 上乗せ・横出し | <input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない |
| 上乗せ・横出しがある場合の内容と金額 | |

| 交付実績とコスト | | (単位:件・円) | | |
|-----------------------------------|---|--------------|-----------------|--------|
| 項目 | 平成20年度(決算) | 平成21年度(決算見込) | 平成22年度(予算) | |
| 交付(見込)件数 | 3件 | 3件 | 4件 | |
| 交付(見込)件数の増減要因 | | - | 市内家庭保育室が1件増えたため | |
| 決算(予算)額(A) | 22,590 | 22,590 | 33,000 | |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 22,590 | 22,590 | 33,000 |
| 概算人件費(B) | 9,468 | 18,994 | 9,495 | |
| 概算補助事業費(A+B) | 32,058 | 41,584 | 42,495 | |
| 実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。) | 交付決定時に、保険加入契約書又は証券により金額を確認しているため、実績報告時に資料の提出を求めている。 | | | |

| 事業環境等 | |
|---------------------|--|
| 見直しの有無 | <input type="checkbox"/> 有 (年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。 |
| 有⇒見直内容 無⇒見直さない理由 | 上限8,100円は、同補助金を交付している他市町と比較しても平均的であるため |

| | |
|---|---|
| 廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など) | 賠償保険の加入は、家庭保育室設置者のみならず、本市においても欠かすことのできないものであるため、その支援は必要である。 |
|---|---|

| 評価 | | | |
|-------|--|--|--|
| 評価項目 | | 判断理由 | 評価 |
| 必要性 | 社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか | 事故が起きた場合、訴訟問題になる事例は多く、また賠償額も高額になっていることから、保険加入は当然のことと考えられ、指定者としての責任があるため。 | <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない |
| 優先性 | 厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか | 保育所と同様に、家庭保育室も重要な子育て支援施策の一環であるため、保育に安心感を持たせるためにも必要。 | <input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い |
| 有効性 | 目的に対して成果が出ているのか | 指定している家庭保育室すべてが賠償責任保険に加入しているため、成果は出ていると考える。 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない |
| 継続性 | 現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか | 導入目的は既に達成しているが、廃止した場合の問題点にあるとおり、継続が必要と考えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない |
| 所属長評価 | <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで） | | |
| | 見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。 | | |
| | | | |